

12. 令和2年度交流研究員

交流研究員 氏名	交流研究員受入 研究グループ	指 導 内 容
鈴木 涼太	構造研究グループ	中高層木造建築物等の構造設計技術の開発 ・中高層木造建築物等の構造設計技術の開発
渡辺 臣	構造研究グループ	既存鉄筋コンクリート造建築物の地震後継続使用のための耐震性評価手法の開発 ・杭基礎の耐震性能の評価・向上に関する技術
廣嶋 哲	構造研究グループ	極大地震に対する鋼構造建築物の倒壊防止に関する設計・評価技術の開発 ・柱部材の疲労限界性能の動的検証および評価 ・柱部材の破断や座屈による建築物の終局状態評価技術
森本 晋平	環境研究グループ	建築物の室内環境性能を確保した省エネルギー性能評価の実効性向上 ・全般換気及び空調システムの省エネ性及び室内温熱環境（温度・湿度）の評価手法について
吉田 義久	環境研究グループ	節水化に伴って高濃度化した汚水の浄化槽による処理に関する研究 ・節水化に伴って高濃度化した汚水の分解性等
青笹 健	環境研究グループ	建築物の室内環境性能を確保した省エネルギー性能評価の実効性向上 ・建築物の先導的省エネ技術動向・導入効果の分析
佐瀬 毅	環境研究グループ	建築物の室内環境性能を確保した省エネルギー性能評価の実効性向上 ・太陽光発電、燃料電池、蓄電池を導入した住宅の消費エネルギー予測ロジックの構築等、建築物の省エネ効果算定に資する研究
黒鳥 皓史	環境研究グループ	建築物の室内環境性能を確保した省エネルギー性能評価の実効性向上 ・室内空調に関する省エネルギー性能の調査
橋本 由樹	防火研究グループ	中高層木造建築物等の防火関連技術の開発 ・中高層木造建築物等の防火関連技術の開発
野中 峻平	防火研究グループ	木材現し型の建築部材を用いた建物の火災安全性に関する研究 ・実験内容の策定及び得られた実験データの妥当性の確認について
河合 邦治	防火研究グループ	大規模地下施設からの安全な避難に関する研究（利用形態、空間特性等を加味した避難誘導方法及び効果的な避難区画等の検討） ・避難・防災に関する専門知識（性能規定化の考え方、群衆避難・弱者避難に関する評価手法および設計法等）の習得
山口 純一	防火研究グループ	避難安全設計技術の高度化 ・排煙・区画の性能検証のための実大火災実験
岸上 昌史	防火研究グループ	避難安全設計技術の高度化 ・排煙・区画の性能検証のための実大火災実験
谷口 翼	材料研究グループ	CLT パネル工法の構造計算基準の合理化に関する研究開発 ・課題建築物の総合的な性能向上への誘導

交流研究員 氏名	交流研究員受入 研究グループ	指 導 内 容
山田 久貴	材料研究グループ	建築材料の状態・挙動に基づく RC 造建築物の耐久性評価に関する研究 ・ RC 造建築物の外装仕上げとして用いられるタイル張りでは、下地調整塗材で躯体表面を補修し、有機系接着剤でタイルを張る場合が多くみられる。これまで、下地調整塗材と有機系接着剤の接着性について評価方法を検討したが、基材としてモルタル板を使用していた。本年度は、実際のコンクリート下地を用いて検討を行い、接着耐久性を検証する。
石田 晃啓	材料研究グループ	建築材料の状態・挙動に基づく RC 造建築物の耐久性評価に関する研究 ・ UAV（ドローン）を活用した建築物の維持保全技術の開発 ・ UAV による建物調査（要求性能、課題抽出） ・ 建築屋根・外壁の診断・保全技術に関わる UAV 活用のあり方の検討
三浦 尚文	材料研究グループ	建築用シーリング材のワーキングジョイントにおける性能評価 ・ 建築用シーリング材のワーキングジョイントにおける性能評価
田村 昌隆	材料研究グループ	建築材料の状態・挙動に基づく RC 造建築物の耐久性評価に関する研究 ・ 屋外暴露試験体を用いた塗膜改修実験、劣化塗膜の評価方法